

# イー・ウーマン調査

## 英語学習について

ビジネスの現場で、英語力の必要性を感じたことは誰にでもあるはず。英語の力で、人材の市場価値も、仕事の内容も、職場の選択肢も、人脈も、格段に違う。今回、イー・ウーマンリーダーズを対象に、英語学習についての意識調査をした。働く女性たち、特に「スマートコンシューマ」たちの非常に意欲的な数字が現れている。

**■ 英語を勉強したい人、なんと95.9%!**  
イー・ウーマンリーダーズの中で、現在英語を学習している人は回答者の約4割、36.9%。現在はしていないが、「英語を勉強したいと思うが、今はできていない」「以前は勉強していたが、今はしていない」という潜在的な英語学習意欲を持つ人は59.0%（グラフ1）。ちなみにイー・ウーマンサイトの人気コンテンツで、毎日更新される「Word of the day」の活用者は、半数以上（56.7%）。毎日1フレーズで、実際のビジネスに即座に活用できる、といったシンプルさとスピード感覚が好まれているようだ。

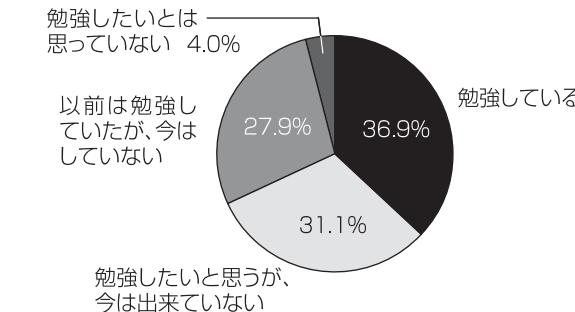
**■ 働く女性は日常生活で英語の自主学習？**  
英語学習者のうち、約4割の人と共に通する勉強法は日常生活の中で「雑誌・新聞・テレビ・インターネットなど英語のものを多く見聞きする」というもの。最近はケーブルテレビで24時間海外放送を見る事ができるし、インターネットでは世界各国の生の文章や映像、音声に触れる事も可能。国際電話機能も国内通話と同じ価格のために、海外との対話を簡単だ。意識さえすれば、学校に通わなくとも、毎日英語を身につける手段がある。また、「テレビ・ラジオの講座を活用している」人が2割を超えていることも注目。こちらも安価に高品質の学習ができる事で知的で忙しい女性たちには人気が高い。  
このような「自主学習」的な、自らの強い意思で学習する傾向は、3位に続く「CD-ROM・DVD・テープを活用している」や「通信教育やインターネットでのe-learning受講」の合計がやはり2割を超えるという高さであることからも伺える（グラフ2）。イー・ウーマンで提供しているインターネットで学習する総合英語プログラムをみても、毎日多くの人が無料体験を試し、実際に自宅で開始している。何年も続けて、実力をアップしている人も着実に増えている。ラジオ講座なら月350円くらいから、インターネット学習なら月3,500円程度の出費で、一流の講師の指導を受けられる今、本気で学習効果を望むスマートコンシューマは、自分の意思で、自宅で学習している傾向が見える。

**■ 英語を勉強するのは、自分を高め、楽しむため。**  
英語を勉強する理由は、大きく2つ、「スキルアップ・キャリアアップ」と「旅行などで使いたいから」がダントツだった。一般的に想像される「資格を取得したいから」というのはわずか6.5%（グラフ3）。スマートコンシューマは、自己のキャリアアップや転職を考えての学習ではなく、毎日の仕事力を高めるため、また自分の幅を広げるため、そして、海外出張や旅行などで英語を話し、日常を楽しくすることを目的としていることがわかる。  
長期ビジョンに立っての英語学習意欲であることが見てくる。

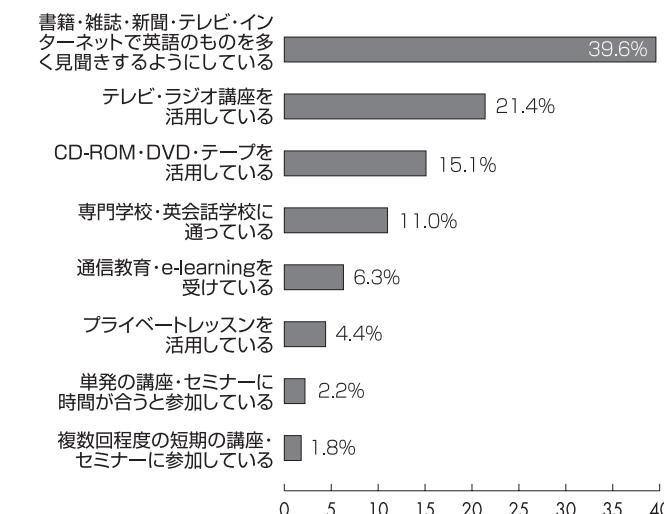
**■ 海外で働きたい、43.9%！**  
イー・ウーマンリーダーズの留学経験は31.0%（グラフ4）。3人に1人が過去に海外で勉強した経験をもつが、その留学の目的は、「語学取得のため」が1位。確かに、初めての留学や海外体験は、語学学習と密接に結びつく場合が多いだろう。しかし、「これから海外に行く機会があれば何がしたいか」という設問に対しては43.9%が「仕事をしたい」と回答。そして続く2位は「大学・大学院で勉強したい」（グラフ5）。日本のビジネス界での経験をつんだ今、海外に出るならば、実際に仕事をしてみたいと考える人が大変多いことがわかる。  
イー・ウーマンリーダーズでTOEICを受けている人が47.3%。なかでも、スコアで一番多い層が730点～859点代。現時点でのその語学力が第一線で活躍できるほど語学力とはいえないまでも、日本のビジネス界では有望な人材層のはず。更に実力アップをはかり、自分の力を限りなく伸ばし、活躍したいと考えるのは自然なことだろう。

イー・ウーマン調査「英語学習について」  
<http://www.ewoman.co.jp/>

グラフ1 あなたは英語を勉強していますか？



グラフ2 英語学習法



<調査概要>  
調査実施:2004年6月3日～6月8日  
調査方法:インターネットによる自記入式アンケート  
対象:イー・ウーマンリーダーズ  
有効回答者数:777名

LEADERS DATA

